



医学書院の電子辞書と 電子ジャーナルサイト のご紹介

医学書院 金原 俊

s-kanehara@igaku-shoin.co.jp

2009/7/10

デジタルパブリッシング専門セミナー

於：東京ビックサイト



株式会社医学書院

- 所在地：東京都文京区本郷
- 創立：1944年（創業65年）
- 人員：約240名（役員＋従業員）
- 売上高：約120億円
- 事業内容
 - 医学・看護および関連領域の書籍・雑誌・電子媒体の出版
- 新刊書籍 約160点 発行
- 月刊誌 32誌 発行
- DVD-ROM(CD-ROM)製品
- Web製品（個人向け・法人向け）
- 電子辞書
- 雑誌配信サイト [MedicalFinder](#)





当社の電子出版の歩み

- 1987/7 社内に「電子出版委員会」発足。研究に着手。
- 1988/5 社内に「EPタスクフォース」発足。開発に着手。
- 1991/7 最初のCD-ROM製品「今日の診療 CD-ROM」発売。
- 1993/10 社内に正式部署の「EP開発室」を設置。
- 1997/9 最初のパソコン通信配信「治療薬マニュアル」開始。
- 1998/9 最初のWeb配信「治療薬マニュアル」開始。
- 1999/4 電子ジャーナルの第1期試験配信開始。
- 1999/12 最初のダウンロード販売「変換辞書」開始。
- 2005/6 Web製品サイト「医学書院Library」開設。
- 2005/7 最初の電子辞書「看護医学電子辞書」発売。
- 2007/6 電子ジャーナルの第2期試験運用開始。
- 2007/7 第1回 電子出版アワード 大賞受賞。
- 2009/1 電子ジャーナルサイト「MedicalFinder」商用運用開始。

看護医学電子辞書

ツインタッチパネル・音声機能搭載。看護に必要な情報を幅広く収録。

看護医学電子辞書 4

好評発売中!

「症状からみた看護過程の展開(電子辞書版)」

「目でみる人体の構造」

「ナース版 ステッドマン医学辞典(改訂第2版)」

を新たに収録。

ツインタッチパネルと

英単語100,000語のネイティブ発音で

さらに便利に!



2つの画面で書ける選べる



2つの発音方式
7音節音声
読み上げ機能



はっきり見やすい



どんどん増やせる



堅牢性を追求した強化設計



- 2005年から年1回発行。現在、第4版を発行中。
- 当社の全出版物中、最大の売上。



製品概要

- 看護師、看護学生向け電子辞書
- 専門辞書10冊 + 一般辞書26冊。年1回改訂。
- 店頭価格5万円弱（非再販商品）

学習用書籍から臨床現場まで、
必要な情報を網羅する看護書籍を10点収録

語学、実用事典から
脳トレアプリまで、
充実のコンテンツを多数収録





自社ブランドであること



- 蓋に当社のロゴ。
- 電機メーカー(カシオ)に製造委託するOEM方式。
OEM: 相手先ブランド製造。
- 当社のブランドで製造し、当社のルートにて販売。



電子出版アワード大賞受賞

2007年 日本電子出版協会主催

第1回 電子出版アワード大賞受賞！



自社ブランドの電子辞書を軌道に乗せた点を評価頂けた様子。ありがとうございました。



自社ブランドの意味

- 製造は当社のリスク。ハイリスク。
制作費は当社負担。在庫リスク。売れ残りは断裁不可。
- 当社出版物として販売し、ハイリターン。
ロイヤリティより圧倒的に高い粗利。
- リスクを負ってこそ出版と自負。
- 単なるコンテンツの提供は出版とは言えない。
- コンテンツを媒体に定着させ、読者の要望する形で提供するのが出版の役目。



家電だが覚悟があれば！

- メーカー保証が必須。
保証書を発行。
- 初期不良対応・修理・サポートが必要。
書店・出版社の負荷。しかし思ったより少ない。
- どこからどう見ても非再販品。
さすがに未経験。家電のノウハウを要勉強。
- 家電だが他の電子出版よりマシ。
家電だからインストール不要。
電池入れればすぐ作動。
書店、社内がすぐに理解。説明不要。
大部数につながる唯一の電子出版か？





初めての保証書

| 医学書院電子辞書保証書 | | 持込修理 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------|
| This warranty is valid only in Japan. (この保証書は日本国内のみにて有効です) | | |
| 本書は、本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上、取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口へ修理をご依頼ください。 (★ご販売店様へ _____) この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ずご記入の上お客様にお渡しください。 | | |
| 品名 | 看護医学電子辞書2 | |
| 機種名 | IS-N2000 | |
| 保証対象 | 本体 | |
| 保証期間 | お買い上げ日より1年間 | |
| | お買い上げ日： 年 月 日 | |
| お客様 | お名前 | 様 |
| | ご住所 | 〒 _____ |
| | 電話 | _____ |
| 販売店 | 住所・店名 | _____ |
| | 電話 | _____ |
| 株式会社 医学書院 | | |
| 〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3 TEL03-3817-5600(社内案内) | | |
| 製造元 | カシオ計算機株式会社 〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2 ☎03-5334-4111 (代表) | |

- 出版物に保証書？
- 家電である以上必須。
- 自社ブランドのため、当社が保証書を要発行。





書籍表示？



医学書院

— 音声機能・ツインタッチパネル搭載 —
看護医学電子辞書4

IS-N4000



CASIO EX-word DATAPLUS 4 準拠

付属品

◆microSD™メモリーカード対応

◆充電電池 eneloop® (エネルーブ) 対応*

* 充電電池 (エネルーブ) および充電器は商品に同梱しておりません。

- 写真・図・表・囲み記事・付録などは、一部のコンテンツを除き、収録されておりません。
- 電子化の都合により、一部のコンテンツで書籍版と内容が異なる場合があります。
- 一部のコンテンツの書籍版は、現在刊行/市販されておりません。
- 本製品に搭載されております中国語コンテンツは、普通話 (標準語)・簡体字対応です。
- 「eneloop®」は三洋電機株式会社の登録商標です。
- microSDロゴは商標です。microSDはSD Card Associationの商標です。
- その他の各会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。
- 治療薬マニュアル電子版は、書籍版「治療薬マニュアル2008」の添付文書部分の情報に基づき2007年12月14日付薬価標準収載分までの医療薬の収載 (2007年8月以降に収載された後発品および一部の配合剤を除く) となります。
- NANDA-I 看護診断電子版は、書籍版「NANDA-I 看護診断 定義と分類2007-2008」に基づく各診断の定義・診断指標 (または危険因子)・関連因子部分の収載となります。
- 看護英会話入門は、書籍版「看護英会話入門 第3版」の「ダイアログ」と「Vocabularyをふやそう」部分および各々に対応する音声の収載となります。
- 症状からみた看護過程の展開 [電子辞書版] は、書籍版「症状からみた看護過程の展開 一病態生理とケアのポイント」に準拠していますが、電子辞書の制約により、その表現形式に違いがあります。

- 専用USBケーブル
- 専用ヘッドホン
- タッチペン (本体に収納)
- 単4形アルカリ乾電池2本
- 取扱説明書 (保証書付き)
- 識別コード検索冊子
- ユーザー登録ハガキセット
- 症状からみた看護過程の展開 利用ガイド (小冊子)



9784260006828



1923847540005

ISBN978-4-260-00682-8
C3847 ¥54000F

価格56,700円 (本体54,000円+税5%)

医学書院

製造元 カシオ計算機株式会社 中国製

開け口

- パッケージの裏 (表4?) の表示。
- ISBN、書籍コードだけで流通。
- 家電だが出版物として流通。



サポート表示

お客様ご相談窓口

製品についてのご相談窓口 ⇨ 医学書院ユーザーサポート係

電話：03-3817-5790 受付時間：月～金曜日
FAX：03-3815-2365 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00
E-mail:support@igaku-shoin.co.jp (土・日曜・祝祭日・その他
弊社の特別休暇日は除く)

修理のご相談窓口 ⇨ カシオテクノ修理相談窓口

修理品のお持ち込みはできません。ご送付のみの受付となります。
修理品をお持ち込みいただく場合は、カシオテクノ・サービスステーションをご利用ください。

※ご送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。

東日本リペアセンター(北海道・東北・関東・信越)



0570-004161

市内通話料金のみご利用いただけます。
〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平3-28-2
(携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合 TEL.042-560-4161)

東海リペアセンター(北陸・東海・近畿)



0570-090109

市内通話料金のみご利用いただけます。
〒418-0034 静岡県富士宮市黒田335-1
(携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合 TEL.0544-27-0109)

中四国コンシューマサービスステーション(中国・四国)

TEL.082-230-5900

〒736-0068 広島県安芸郡海田町新町10-13

九州コンシューマサービスステーション(九州)

TEL.092-411-2939

〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-16-23カシオ福岡ビル2F

受付時間：月曜日～土曜日 AM9:00～PM6:30(日・祝日・弊社指定休業日は除く)

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 修理の必要が生じた場合は、製品と本書をカシオテクノ・サービスステーションまでご持参いただくか、カシオテクノ修理相談窓口までご送付ください。日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。
- 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、またご送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段(簡易書留や宅配など)をご利用ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - お買い上げ後の輸送、移動時のお取り扱いが不適当なため生じた故障・損傷
 - 誤用、乱用および取り扱い不注意、落下、水没、水かぶりなどによる故障・損傷(表示画面付きの製品では、画面のガラス割れなど)
 - 不当な修理または改造による故障・損傷
 - 電池の液もれなどによる故障・損傷
 - 火災、地震、水害、その他の天災地変および異常電圧による故障・損傷
 - 消耗品(電池など)および付属品のお取り替えの場合
 - 本書の提示がない場合および本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 修理内容などの記録は修理伝票にかえさせていただきます。
※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、カシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。



電子辞書まとめ

- 自社ブランド方式の採用により、媒体を利用者に届けると言う、出版本来の役割が果たせた。
- ハイリスクだがハイリターン。リスクを負ってこそ出版。
- 紙より高い需要。年間予定台数を発売初日に完売。
- 家電品ではあるが、要点を押さえることで、出版物として出版社ルートに適合。
- 特に専門書出版社にはお勧め。

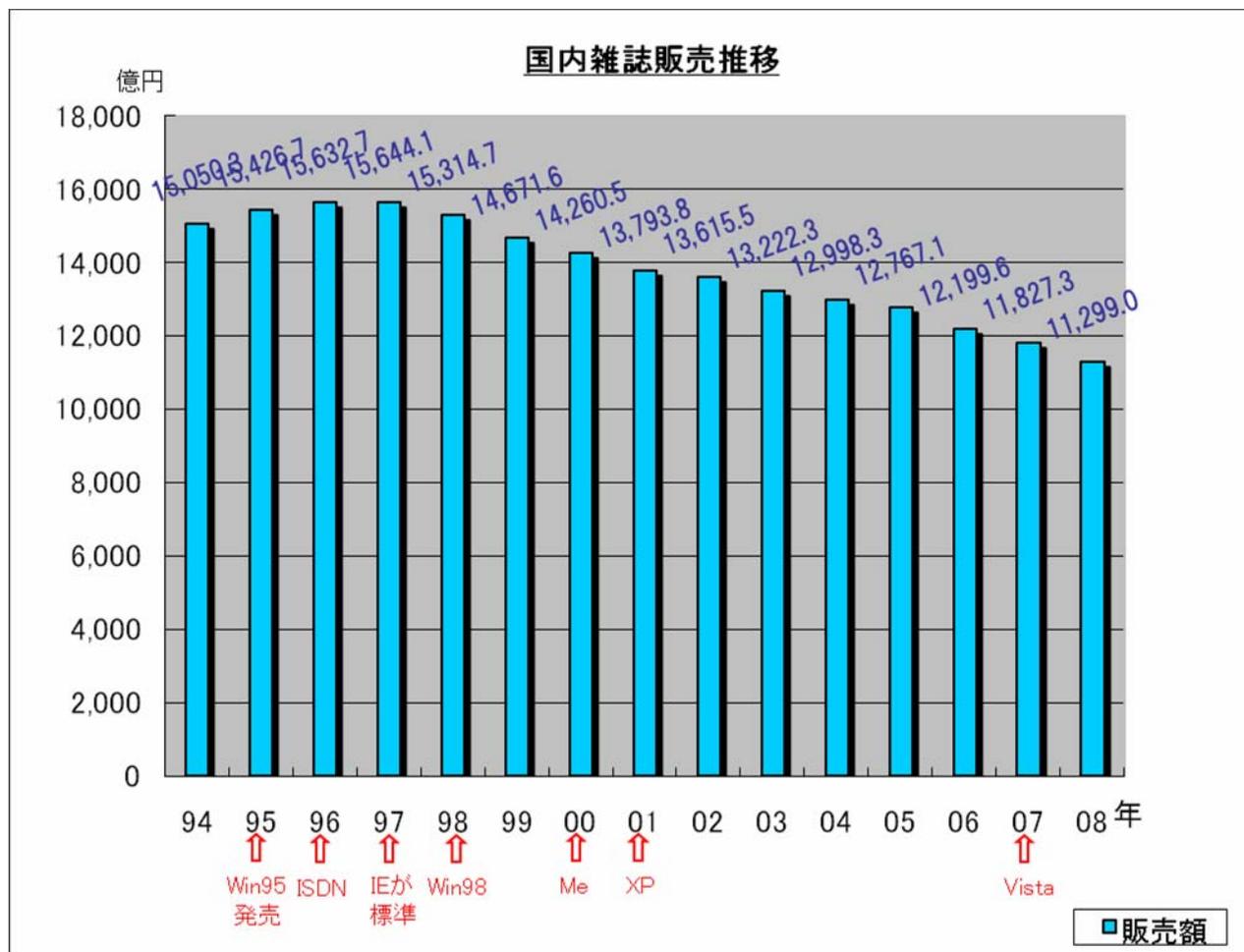


電子ジャーナルの基礎知識

- 電子ジャーナル＝電子化した学術雑誌＝EJ
- 形態上：論文をネットで配信し、PC等で閲覧。
- 販売上：施設導入が主、個人購読は従。
- 施設内の全PCから、膨大な論文が常時閲覧可能。
- 既に洋雑誌のEJが日本にも広く普及・定着。
(基本的に高額有料モデル。無料は一部。広告ではなく著者費用負担)
- 研究環境が激変。自分の机で論文検索、印刷。利便性が格段に向上。EJは研究者のライフライン。
- 図書館業務も激変。管理負荷の軽減。
(貸出・返却・複写・未着・汚損・破損・紛失から司書を解放)



雑誌の衰退（一般誌）



- 日本の雑誌販売はこの11年で28%減。
- 市場の1/4以上が消えた！
- ネットとの因果関係が指摘。

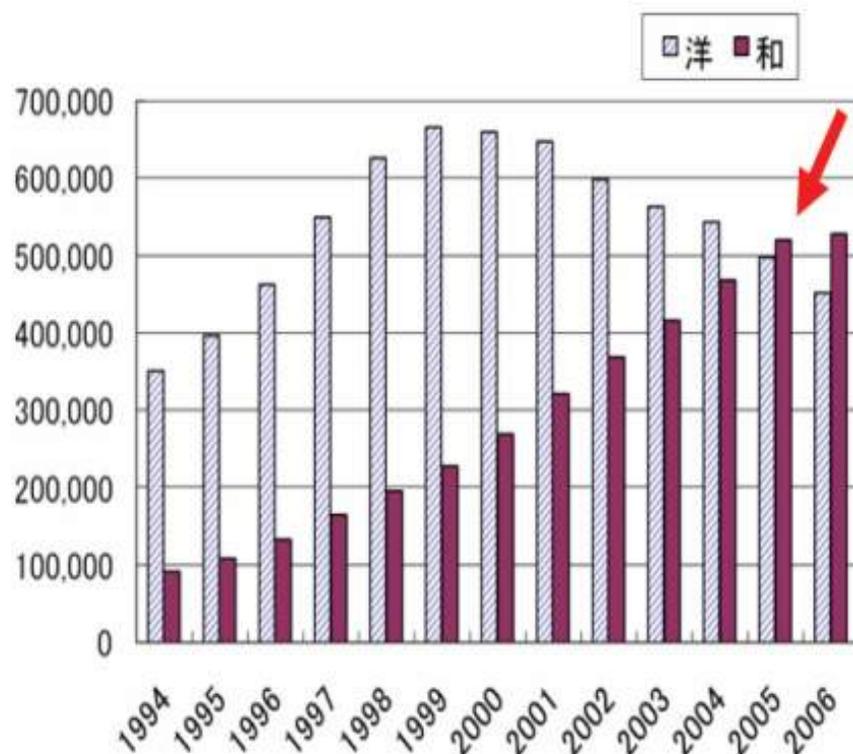


日本の学術誌(冊子体)の状況

- 一般誌より前の93年頃から減少開始。
- ピーク比べ2/3程度の部数。
- あきらかに構造的。特徴＝定期購読者の高齢化。
- 背景＝検索環境と複写サービスの向上。
→ 検索、ILL(図書館相互貸借)、コピー入手、定期購読中止
- 93年頃＝CD-ROM検索の普及期。
- ある世代以降、情報入手習慣が変化。本棚→検索。
- 定期購読はある年代以上の習慣→高齢化。
- 以後16年。約1/3の世代が新世代。部数も1/3減。

EJの普及と複写の関係

• 複写依頼件数の和洋別傾向



- 大学図書館間のILL (相互貸借)の推移。
- 洋雑誌の複写はEJの普及により減少。
- 和雑誌が急増。逆転。
- ILL→コピーは14年前の5～6倍！

日本の学術情報の電子化-絶望の現在と不安な将来-

土屋俊 2007年11月8日より。

NII(国立情報学研究所)のILLログデータ(1994-2006)の分析より。



部数減≠読者減

- 部数は減ったが、依然として読まれている。
- 習慣の変化。図書館や業者からコピー入手。
- 読まれているが売上にならず、出版コストが回収できない状況。
- ILLやコピーは司書さんの努力によってコスト減のように見えるだけ。効率の良い情報流通ではない。
- EJの普及により、出版コストの回収と情報流通の効率化をはかるべき。



EJが意味すること

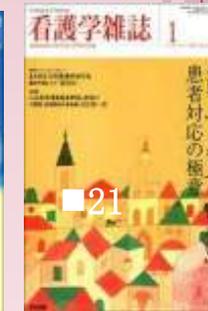
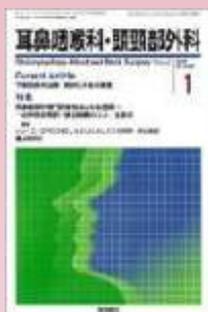
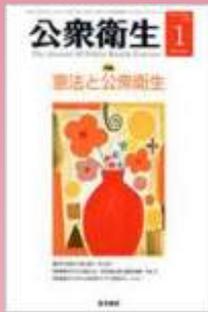
- 物の販売から権利の販売へ。出版概念の変革。
- 和雑誌に「施設価格」を初めて導入。
- ゴールはデスクトップ専門図書館の構築。
全発行物が、各自のPCから閲覧できる。
巨大なデスクトップ図書館（ユーザーは無料）。
行かなくて良い、借りなくて良い、返さなくて良い、
コピーしなくて良い、貸出中がない、休館日がない、
閉館時間がない図書館。
- 全ての専門職に不可欠なツールに。



医学・看護の電子ジャーナルサイト

MedicalFinder







MedicalFinder概要

- MedicalFinder: 医学書院が構築・運営するEJサイト。
- 当社(関連会社)のほぼ全誌=33誌を収載。
- 2003年1号以降の全記事、約50,000文献を収載。
- 1年半の試用期間を経て、今年1月より販売開始。
- 現在、医科大学、医療系大学、大規模病院などと契約し、有償配信中。
- 将来は当社全書籍、他社雑誌・書籍も収載の計画。



機能上の特徴

- 医中誌Web(医学雑誌検索サイト)から、論文毎に1対1のリンク。
- 引用文献中の論文の電子データ(EJ)へリンク。
海外文献へはCrossRefを經由してリンク。

CrossRef: クロスレフ。欧米の2,500社以上の出版社の共同出資による非営利団体、および同団体が提供する、引用文献のEJにアクセスするためのリンクサービス。

- RSSによるアラート。

RSS: のWebサイトの更新情報を簡単にまとめ、配信するための文書フォーマット。

- 高速な全文検索。
- 日本の出版社のサイトとしては、数少ない本格的電子ジャーナルサイト。

MedicalFinderの商品構成

- 法人サービス。
 - 施設向け年額サービス。
 - 洋雑誌で一般的なモデル。
- パーソナル。
 - 個人向け年額サービス。
 - 冊子体に近いモデル。
- ペーパービュー。
 - 1記事毎の販売。
 - サイト上から販売。



EJまとめ

- 専門誌は一般誌より、更に厳しい部数減。
- 幸い一般誌と異なり読者は減ってない。
- 検索、ILL、複写で膨大な情報から検索して必要部分を手。
- 行動様式の変化→新たな需要。EJで応えたい。
- EJは紙の部数減を補完する役割。
- 但し、個人から施設モデルの転換が必要。



おわりに

- 出版の使命は、情報の作り手から受け手に、望む形態に加工して届ける（流通させる）こと。
- 紙か電子かはその手段に過ぎない。ニーズに合わせて提供。現代は両方を提供すべき。
- 出版市場の縮小は誤り。紙市場が縮小しているだけ。
- 活字離れも誤解。単に紙離れ。必要な情報量は不変。
- 辞書と雑誌は共に、紙としては縮小市場だが、共に需要は高い。電子も提供することで紙の縮小を補完。
- 出版人の紙への愛着も理解できるが、出版の使命のために、電子的な手段も取込むべきでは。
- 電子の加工・流通をあきらめずに、自ら行う事が肝要。



Thank you!



創業後(1955年頃)に活躍した、当社自前の移動ショールーム。
昔も今も自ら媒体を作り、読者に届けるのが出版社の使命と考えます。